

パートナーシップ制度の連携自治体が大幅に拡大しました!

町では、第四次吉見町男女共同参画プランの基本理念に掲げている「わたしらしく個性と能力が発揮できる 明るいまち」の実現を目指して、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を令和4年4月1日から導入しています。

この制度は、性的マイノリティである方々が、お互いを人生のパートナーとして助け合い、協力しあって生活を共にすると約束したことを宣誓し、町が宣誓証明書や宣誓証明カードを交付する制度です。宣誓することによって相続などの法律上の効果は生じませんが、多様性を尊重し生き生きと生活することを応援するものです。

令和6年4月12日に埼玉県内62自治体と「パートナーシップ制度に係る連携に関する協定」を締結し、令和7年2月5日に県内全市町村と連携協定を締結しております。これにより、連携する自治体間で転入・転出した後も、簡易な手続きで引き続きパートナーシップ制度をご利用いただけます。



パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度



LGBTQ 用語解説

LGBTQとは、Lesbian(レズビアン)、Gay(ゲイ)、Bisexual(バイセクシュアル)、Transgender(トランスジェンダー)、Questioning(クエスチョニング)の頭文字をとった言葉で、性的少数者を表す総称のひとつとしても使われることがあります。

また、SOGI(ソジ)という言葉が用いられることも多くなっています。これは、性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)を合わせたもので、性的少数者もそうでない人も含めて、全ての人が性の多様性の当事者であることに焦点を当てようとするものです。

SOGI(ソジ)

性的指向 (好きになる性) Sexual Orientation	性自認 (心の性) Gender Identity
レズビアン (Lesbian) 性自認が女性で、女性を好きになる人	トランスジェンダー (Transgender) 生物学的性と性自認が異なる人
ゲイ (Gay) 性自認が男性で、男性を好きになる人	【性同一性障害】 自分の生物学的性に不快感や違和感を持ち、身体を変え、反対の性で生きることを強く望むことを指す医学的な診断名で、トランスジェンダー全員が該当するわけではありません。
バイセクシュアル (Bisexual) 男性・女性どちらも恋愛対象になる人	エックスジェンダー (X-gender) 性自認が男性・女性にあてはまらないと考えている人
パンセクシュアル (Pansexual) 男性・女性に限らず、さまざまな性のあり方の人が恋愛対象になる人	シスジェンダー (Cisgender) 生物学的性と性自認が一致する人
アセクシュアル (Asexual) 恋愛感情の有無にかかわらず、他者に対して性的欲求を抱かない人	
ヘテロセクシュアル (Heterosexual) 性的指向が異性に向く人	
クエスチョニング (Questioning) 性的指向や性自認がわからない人、決めたくない人	

～ALLY(アライ)とは～ ALLYとは、応援者、味方の意味で性的少数者を理解して支援している人、または支援したいと思う人のことをいいます。多様性を認め合いながら、誰もが自分らしく暮らせる社会を実現するためには、ALLYの存在が大切です。



ほほえみ

令和8年2月7日に「人権を考える町民のつどい」を開催しました!

(記事は裏面に掲載しております。)



人権作文を朗読した児童生徒

もしかしたらこれってデートDVなの?

DV(ドメスティック・バイオレンス)は、配偶者やパートナーなど親しい間柄で起こる暴力のことです。

その中でも、交際中のカップルの間で起こる暴力は「デートDV」と呼ばれており、一方が暴力を繰り返して他方を支配・コントロールする対等ではない関係のことをいいます。

パープルリボンには女性への暴力の根絶を願うというメッセージが込められています。



デートDVを受けていませんか?

- 「バカ」「ウザイ」「ブス」など、傷つくような言葉を言われる。
- 相手の考えを優先しないと、相手が不機嫌になったり、怒ったり、暴力をふるったりする。
- スマホをチェックされ、友人の連絡先を消せと命令されたり、勝手に消されたりする。
- どこにいるのか、誰といるのかと行動を監視される。
- 「恋人同士ならいいでしょ」と気が進まないことをさせられる。

デートDVをしていませんか?

- 相手の行き先や服装などをいつもチェックする。
- 自分のことを好きなら、身体を許すことは当然だと思う。
- 相手が自分の言うとおりにするのは当然だと思っている。
- 自分の思うようにならないことがあると不機嫌になったり、イライラを相手にぶついたりする。
- デートの費用を相手に出させる。

ひとつでもチェックが付いたら、デートDVではないかと考えてみましょう!

事務局 吉見町自治財政課人権政策室
吉見町大字下細谷411
電話: 0493-54-1515 FAX: 0493-54-1535

企画・編集 吉見町男女共同参画推進委員会

DV相談機関

※緊急の場合には迷わず110番!
(警察署でも相談できます。)

With Youさいたま
(埼玉県男女共同参画推進センター)

- DVに関する相談 ☎048-600-3700
- さまざまな悩み相談 ☎048-600-3800

人権作文の朗読 人権に関する講演会

- 日時** 令和8年2月7日(土)午後1時30分～午後3時50分
- 会場** 吉見町民会館「フレサよしみ」大ホール
- 主催** 吉見町・吉見町教育委員会
- 協力** 吉見町男女共同参画推進委員会
- 協賛** 埼玉県、川越・東松山人権啓発活動地域ネットワーク協議会

令和8年2月7日(土)吉見町民会館「フレサよしみ」で、お互いの人権を尊重しながら共に生きる社会を実現するため、人権を考える町民のつどいが開催されました。

当日は、町内の各小・中学校から選出された代表7名による人権作文の朗読と、タレントで山形弁研究家のダニエル・カールさんを講師としてお迎えし、講演会を実施しました。

人権作文の朗読では、それぞれの児童・生徒が日々の生活の中での体験談や思いなどを堂々と発表され、子どもたちが人権についてどのような意識を持って考えているのか知りえるとても心に響く朗読でした。

また、講演会では講師のダニエル・カールさんから、「ダニエルが語る多文化共生論」と題し、ご講演をいただきました。

長年日本で過ごされているダニエル・カールさん、流暢な日本語で、これまで日本で体験した言葉の違い、文化の違い、コミュニケーションの違いなどについてのエピソードをユーモアたっぷりに交えながらお話いただきました。会場は時折笑い声に包まれ、参加された皆様は笑顔で熱心に耳を傾けていました。



人権作文の朗読			
題名	学校名	学年	名前
元気をくれた友だちの言葉	東第一小学校	4年	久保田 菜雅
勇気の一言	東第二小学校	6年	小林 玖蘭
友だちだから	南小学校	4年	山崎 めいこ
人や動物の大切な命	西小学校	6年	森 陽斗
あいさつでの出会い	北小学校	6年	山本 愛心
ぼくが親切にされたことしたこと	西が丘小学校	3年	野呂 亮輔
少しの勇気で	吉見中学校	1年	野口 蓮



人権作文の掲載
東第一小→東第二小→南小→西小→北小→西が丘小→中学校の順番で掲載を予定しています。

題名：元気をくれた友だちの言葉

※東第一小学校代表の久保田菜雅さん(4年生)が朗読された人権作文です。

わたしは、ドッジボールがきらいでした。ようち園のころからきらいで、いつもみんながドッジボールをしているなか、わたしはようち園のはしで遊んでいました。なぜドッジボールがきらいかというと、当たるとこわいし、にげている時にだれかにおされてころんだりしたらいやで、しかもキャッチができなくて、もしてきたとしてもなげるのがにがてだからです。

ドッジボールがきらいなままようち園をそつ園して一年生になった時、レクでドッジボールがありました。みんながよろこんでいる時、わたしはみんなとちがういやな顔をしていました。外に行く途中で、Aさんが声をかけてくれました。わたしがドッジボールがいやな事を話すとAさんは、

「外野をやってみなよ。」
とってくれました。外野ならボールは当たらないことを話してくれました。ボールなげはにがてだけど外野が当たらないならやってみようと思いました。

わたしは外野になってゲームがはじまりました。はじめて少したったころ、わたしのほうにボールがコロコロころがってきました。わたしはボールを持ってなげました。なげたボールはとんでいきます。そして、ボールが当たりました。わたしは、自分のへなちょこボールが当たるとは思ってなかったのびっくりしました。でもおどろきの中にうれしい気持ちもありました。こんなに楽しいんだと思いました。コートの中に入ってからはずき当てたのがうれしくてまた当てたいと思っていたらボールが来ました。Bさんがボール



を取りました。でもBさんは、わたしにボールをくれました。もういちどボールをなげたら今度は当たらなかったけどBさんがボールをくれたのがうれしかったです。ドッジボールがおわった後、わたしはAさんに、

「外野をすすめてくれてありがとう。」
と言って、Bさんに、
「ボールをわたしにくれてありがとう。」
と言いました。わたしはAさんとBさんのおかげで、まだ苦手ではあるけれどドッジボールができるようになりました。さいきんもレクでドッジボールをしていた時に担任の先生に当てる事ができました。

これからは、わたしがAさんやBさんのようにやさしい言葉や元気になる言葉をまわりの人にかけて、わたしみたいに苦手なこともやってみようという気持ちにさせられるといいなと思います。いろいろな人がいろいろなことにチャレンジできる世界にしたいです。